

港の町 散策絵図



北前船の
寄港地 古い家並みが
残る 万葉集の歌人
大伴家持が愛した
絶景の
景勝地

伏木 吉久 二上山 雨晴



おおとものやかもち
大伴家持 (718年ころ~785年)

今から約1275年前、当時越中の国府は高岡市伏木の高台、今の勝興寺あたりにあったといわれています。そこに新たな国守(今の県知事)として遠く奈良の都からやってきたのが、後に日本最古の和歌集「万葉集」の編者ともされる29歳の若き大伴家持です。

富山湾や雪で白く輝く立山連峰など、越中の新鮮な自然に魅了された家持は、この地で独創的な境地を開き、滞在した5年の間に223首の歌を詠み、それが「万葉集」に収められています。

高岡市では、施設名やイベントに、さらに、路面電車、町名、学校名など、「万葉」と名のつくものが随所にあります。「万葉集」の歌を詠んだ歌碑も多くあり、その数は100基を越えます。

富山県高岡市 (人口約17万人)

古くから越中の政治、文化、経済の中心地として栄えた高岡市は、「万葉集」の編者ともされる大伴家持が、かつて越中国守として現在の高岡市伏木の地に住み、数々の秀歌を詠んだ万葉ゆかりの地です。

高岡城が築かれて以来400年の歴史が息づく高岡には、国宝や重要文化財、情緒ある町並みなど、格調の高い歴史的遺産が数多く残されています。

海越しに雄大な立山連峰を間近に望むという素晴らしい景観は、高岡市が世界に誇る絶景です。

【日本遺産認定の地】

平成29年4月、文化庁から日本遺産の認定を受けた物語「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に、伏木エリアの旧秋元住宅(高岡市伏木北前船資料館)や吉久重要伝統的建造物群保存地区をはじめとする9つの文化財が追加認定されました。

伏木には江戸から大正にかけて最盛期には大小30軒ほどの廻船問屋があり、北前船の寄港地として栄えました。越中各地から集められた米の他、鉄物、鉄製品を各地に運び、加賀藩の商業発展に大いに寄与しました。

また、幕末の頃の伏木港は年間2,000隻を超える多国籍船で賑わい、港の周辺にはその後多くの企業が立地しました。現在は、13万トン級の客船が寄港する日本海側でも最大級の国際貿易港となった原動力は、北前船によるところが大きいのです。



観光船

氷見沖クルージング
(5月~10月/定員50名)
(一社)氷見市観光協会 ☎ 0766-74-5250
氷見市漁業文化交流センター前着
氷見沖遊観(25分) 大人……1,200円
小人……600円
未就学兒……無料

歩き時間

雨晴

11 雨晴海岸
12 JR雨晴駅
13 道の駅雨晴
14 国泰寺
二上山
8 二上山万葉ライン
11 国定公園 雨晴海岸
国指定名勝 おくのほそ道の風景地
(有磯海)
9 道の駅雨晴
10 国泰寺
タクシー
エフ・ティ ☎ 44-0004
高岡交通 ☎ 23-1212
新和タクシー ☎ 27-0500
レンタカー (市外局番: 0766)
トヨタレンタカー-高岡店 ☎ 21-0100
ニッポンレンタカー-新高岡駅北口営業所 ☎ 27-0919
オリックスレンタカー-新高岡駅前店 ☎ 20-0543
駅レンタカー-新高岡駅営業所 ☎ 24-4200
日産レンタカー-新高岡新幹線駅前店 ☎ 23-5523
トヨタレンタカー-新高岡駅前店 ☎ 26-1070
ジャパンレンタカー-高岡店 ☎ 25-3000
ガツレンタカー-高岡駅前店 ☎ 30-3820
レンタサイクル
利用時間 9:00~17:00
(貸出受付は16:00まで)
利用料金 1回 500円(電動) 300円(普通)
●次のところに申し込み、鍵をもらってください。
雨晴駅観光案内所 (JR雨晴駅内) ☎ 44-0659
氷見市観光協会 (JR氷見駅内) ☎ 74-5250
ひみ番屋街総合案内所 ☎ 74-3521
※上記のどの場所でも返却できます。

伏木・吉久

6 岩崎ノ鼻灯台
7 吉久の町並み
8 伏木駅
9 国宝 勝興寺 越中国庁跡
10 万葉歴史館
11 道の駅伏木
12 伏木北前船資料館
13 越中国守館跡 伏木気象資料館
14 氷見駅
15 岩崎駅
16 島尾駅
17 道の駅雨晴
18 国泰寺
19 伏木駅
20 伏木駅
21 伏木駅
22 伏木駅
23 伏木駅
24 伏木駅
25 伏木駅
26 伏木駅
27 伏木駅
28 伏木駅
29 伏木駅
30 伏木駅
31 伏木駅
32 伏木駅
33 伏木駅
34 伏木駅
35 伏木駅
36 伏木駅
37 伏木駅
38 伏木駅
39 伏木駅
40 伏木駅
41 伏木駅
42 伏木駅
43 伏木駅
44 伏木駅
45 伏木駅
46 伏木駅
47 伏木駅
48 伏木駅
49 伏木駅
50 伏木駅
51 伏木駅
52 伏木駅
53 伏木駅
54 伏木駅
55 伏木駅
56 伏木駅
57 伏木駅
58 伏木駅
59 伏木駅
60 伏木駅
61 伏木駅
62 伏木駅
63 伏木駅
64 伏木駅
65 伏木駅
66 伏木駅
67 伏木駅
68 伏木駅
69 伏木駅
70 伏木駅
71 伏木駅
72 伏木駅
73 伏木駅
74 伏木駅
75 伏木駅
76 伏木駅
77 伏木駅
78 伏木駅
79 伏木駅
80 伏木駅
81 伏木駅
82 伏木駅
83 伏木駅
84 伏木駅
85 伏木駅
86 伏木駅
87 伏木駅
88 伏木駅
89 伏木駅
90 伏木駅
91 伏木駅
92 伏木駅
93 伏木駅
94 伏木駅
95 伏木駅
96 伏木駅
97 伏木駅
98 伏木駅
99 伏木駅
100 伏木駅
101 伏木駅
102 伏木駅
103 伏木駅
104 伏木駅
105 伏木駅
106 伏木駅
107 伏木駅
108 伏木駅
109 伏木駅
110 伏木駅
111 伏木駅
112 伏木駅
113 伏木駅
114 伏木駅
115 伏木駅
116 伏木駅
117 伏木駅
118 伏木駅
119 伏木駅
120 伏木駅
121 伏木駅
122 伏木駅
123 伏木駅
124 伏木駅
125 伏木駅
126 伏木駅
127 伏木駅
128 伏木駅
129 伏木駅
130 伏木駅
131 伏木駅
132 伏木駅
133 伏木駅
134 伏木駅
135 伏木駅
136 伏木駅
137 伏木駅
138 伏木駅
139 伏木駅
140 伏木駅
141 伏木駅
142 伏木駅
143 伏木駅
144 伏木駅
145 伏木駅
146 伏木駅
147 伏木駅
148 伏木駅
149 伏木駅
150 伏木駅
151 伏木駅
152 伏木駅
153 伏木駟
154 伏木駟
155 伏木駟
156 伏木駟
157 伏木駟
158 伏木駟
159 伏木駟
160 伏木駟
161 伏木駟
162 伏木駟
163 伏木駟
164 伏木駟
165 伏木駟
166 伏木駟
167 伏木駟
168 伏木駟
169 伏木駟
170 伏木駟
171 伏木駟
172 伏木駟
173 伏木駟
174 伏木駟
175 伏木駟
176 伏木駟
177 伏木駟
178 伏木駟
179 伏木駟
180 伏木駟
181 伏木駟
182 伏木駟
183 伏木駟
184 伏木駟
185 伏木駟
186 伏木駟
187 伏木駟
188 伏木駟
189 伏木駟
190 伏木駟
191 伏木駟
192 伏木駟
193 伏木駟
194 伏木駟
195 伏木駟
196 伏木駟
197 伏木駟
198 伏木駟
199 伏木駟
200 伏木駟
201 伏木駟
202 伏木駟
203 伏木駟
204 伏木駟
205 伏木駟
206 伏木駟
207 伏木駟
208 伏木駟
209 伏木駟
210 伏木駟
211 伏木駟
212 伏木駟
213 伏木駟
214 伏木駟
215 伏木駟
216 伏木駟
217 伏木駟
218 伏木駟
219 伏木駟
220 伏木駟
221 伏木駟
222 伏木駟
223 伏木駟
224 伏木駟
225 伏木駟
226 伏木駟
227 伏木駟
228 伏木駟
229 伏木駟
230 伏木駟
231 伏木駟
232 伏木駟
233 伏木駟
234 伏木駟
235 伏木駟
236 伏木駟
237 伏木駟
238 伏木駟
239 伏木駟
240 伏木駟
241 伏木駟
242 伏木駟
243 伏木駟
244 伏木駟
245 伏木駟
246 伏木駟
247 伏木駟
248 伏木駟
249 伏木駟
250 伏木駟
251 伏木駟
252 伏木駟
253 伏木駟
254 伏木駟
255 伏木駟
256 伏木駟
257 伏木駟
258 伏木駟
259 伏木駟
260 伏木駟
261 伏木駟
262 伏木駟
263 伏木駟
264 伏木駟
265 伏木駟
266 伏木駟
267 伏木駟
268 伏木駟
269 伏木駟
270 伏木駟
271 伏木駟
272 伏木駟
273 伏木駟
274 伏木駟
275 伏木駟
276 伏木駟
277 伏木駟
278 伏木駟
279 伏木駟
280 伏木駟
281 伏木駟
282 伏木駟
283 伏木駟
284 伏木駟
285 伏木駟
286 伏木駟
287 伏木駟
288 伏木駟
289 伏木駟
290 伏木駟
291 伏木駟
292 伏木駟
293 伏木駟
294 伏木駟
295 伏木駟
296 伏木駟
297 伏木駟
298 伏木駟
299 伏木駟
300 伏木駟
301 伏木駟
302 伏木駟
303 伏木駟
304 伏木駟
305 伏木駟
306 伏木駟
307 伏木駟
308 伏木駟
309 伏木駟
310 伏木駟
311 伏木駟
312 伏木駟
313 伏木駟
314 伏木駟
315 伏木駟
316 伏木駟
317 伏木駟
318 伏木駟
319 伏木駟
320 伏木駟
321 伏木駟
322 伏木駟
323 伏木駟
324 伏木駟
325 伏木駟
326 伏木駟
327 伏木駟
328 伏木駟
329 伏木駟
330 伏木駟
331 伏木駟
332 伏木駟
333 伏木駟
334 伏木駟
335 伏木駟
336 伏木駟
337 伏木駟
338 伏木駟
339 伏木駟
340 伏木駟
341 伏木駟
342 伏木駟
343 伏木駟
344 伏木駟
345 伏木駟
346 伏木駟
347 伏木駟
348 伏木駟
349 伏木駟
350 伏木駟
351 伏木駟
352 伏木駟
353 伏木駟
354 伏木駟
355 伏木駟
356 伏木駟
357 伏木駟
358 伏木駟
359 伏木駟
360 伏木駟
361 伏木駟
362 伏木駟
363 伏木駟
364 伏木駟
365 伏木駟
366 伏木駟
367 伏木駟
368 伏木駟
369 伏木駟
370 伏木駟
371 伏木駟
372 伏木駟
373 伏木駟
374 伏木駟
375 伏木駟
376 伏木駟
377 伏木駟
378 伏木駟
379 伏木駟
380 伏木駟
381 伏木駟
382 伏木駟
383 伏木駟
384 伏木駟
385 伏木駟
386 伏木駟
387 伏木駟
388 伏木駟
389 伏木駟
390 伏木駟
391 伏木駟
392 伏木駟
393 伏木駟
394 伏木駟
395 伏木駟
396 伏木駟
397 伏木駟
398 伏木駟
399 伏木駟
400 伏木駟
401 伏木駟
402 伏木駟
403 伏木駟
404 伏木駟
405 伏木駟
406 伏木駟
407 伏木駟
408 伏木駟
409 伏木駟
410 伏木駟
411 伏木駟
412 伏木駟
413 伏木駟
414 伏木駟
415 伏木駟
416 伏木駟
417 伏木駟
418 伏木駟
419 伏木駟
420 伏木駟
421 伏木駟
422 伏木駟
423 伏木駟
424 伏木駟
425 伏木駟
426 伏木駟
427 伏木駟
428 伏木駟
429 伏木駟
430 伏木駟
431 伏木駟
432 伏木駟
433 伏木駟
434 伏木駟
435 伏木駟
436 伏木駟
437 伏木駟
438 伏木駟
439 伏木駟
440 伏木駟
441 伏木駟
442 伏木駟
443 伏木駟
444 伏木駟
445 伏木駟
446 伏木駟
447 伏木駟
448 伏木駟
449 伏木駟
450 伏木駟
451 伏木駟
452 伏木駟
453 伏木駟
454 伏木駟
455 伏木駟
456 伏木駟
457 伏木駟
458 伏木駟
459 伏木駟
460 伏木駟
461 伏木駟
462 伏木駟
463 伏木駟
464 伏木駟
465 伏木駟
466 伏木駟
467 伏木駟
468 伏木駟
469 伏木駟
470 伏木駟
471 伏木駟
472 伏木駟
473 伏木駟
474 伏木駟
475 伏木駟
476 伏木駟
477 伏木駟
478 伏木駟
479 伏木駟
480 伏木駟
481 伏木駟
482 伏木駟
483 伏木駟
484 伏木駟
485 伏木駟
486 伏木駟
487 伏木駟
488 伏木駟
489 伏木駟
490 伏木駟
491 伏木駟
492 伏木駟
493 伏木駟
494 伏木駟
495 伏木駟
496 伏木駟
497 伏木駟
498 伏木駟
499 伏木駟
500 伏木駟
501 伏木駟
502 伏木駟
503 伏木駟
504 伏木駟
505 伏木駟
506 伏木駟
507 伏木駟
508 伏木駟
509 伏木駟
510 伏木駟
511 伏木駟
512 伏木駟
513 伏木駟
514 伏木駟
515 伏木駟
516 伏木駟
517 伏木駟
518 伏木駟
519 伏木駟
520 伏木駟
521 伏木駟
522 伏木駟
523 伏木駟
524 伏木駟
525 伏木駟
526 伏木駟
527 伏木駟
528 伏木駟
529 伏木駟
530 伏木駟
531 伏木駟
532 伏木駟
533 伏木駟
534 伏木駟
535 伏木駟
536 伏木駟
537 伏木駟
538 伏木駟
539 伏木駟
540 伏木駟
541 伏木駟
542 伏木駟
543 伏木駟
544 伏木駟
545 伏木駟
546 伏木駟
547 伏木駟
548 伏木駟
549 伏木駟
550 伏木駟
551 伏木駟
552 伏木駟
553 伏木駟
554 伏木駟
555 伏木駟
556 伏木駟
557 伏木駟
558 伏木駟
559 伏木駟
560 伏木駟
561 伏木駟
562 伏木駟
563 伏木駟
564 伏木駟
565 伏

伏木・吉久の見どころ

① 伏木港
(国際拠点港湾)
（日本海側拠点港）

古くから要港として栄えた伏木港は、江戸時代には北前船で賑わい、その後は国際貿易港として発展しました。近年は国内外の貨物船に加え、大型豪華客船が停泊するなど、港は一段と華やかです。

最初の西洋式灯台、燈明台が港に映えます。

万葉ふ頭に復元された日本海側最初の西洋式灯台、燈明台が港に映えます。

【2】 みなと町 伏木



みんなと町伏木では、北前船で賑わった往時の繁栄ぶりを示す、町家や洋風建築を見ることができます。

高岡商工会議所伏木支所の建物は、1910年(明治43年)に建てられた元銀行です。土蔵造りでありながら、窓やタイル等に洋風のデザインを取り入れています。

【資料館】 ☎ 0766-44-0457
【内部観覧】 無料

【休館日】 土・日・祝・お盆 年末年始

江戸時代から廻船問屋を営んできた大きな家の部屋数は十六室。土蔵は江戸時代後期に建てられたものです。館内には、北前船の航海用具や船主の生活用具、歴史資料などが展示されており、港への船の出入りを見張った望楼に登つて見学することもできます。

【資料館】 ☎ 0766-44-3999
【観覧料】 大人300円、小・中学生無料

【休館日】 年末年始・毎週火曜日
(火曜日が祝日の場合は翌平日)



延喜式神名帳に名を連ねる古社で越中國唯一の名神大社とする資料もあります。国重要文化財の本殿は四百五十年程前の再建といわれ、室町時代の建築様式の特徴がよく残された風格ある建物です。境内に、万葉集の歌人大伴家持を顕彰した大伴神社が建っています。

【5】 吉久の町並み
(国選定重要伝統的建造物群保存地区)

今から三百五十年前、吉久に加賀藩直営の米蔵がつくられました。当時砺波・射水平野は加賀藩最大の米どころであり、年貢米は庄川と小矢部川の水運と馬によって米蔵に運び込まれました。一旦米蔵に集積された米は、近くの伏木港から江戸や大阪に送られ、吉久は高岡の重要な米の集散地として大いに栄えました。

その吉久には、江戸時代末から昭和初期にかけて建てられた家が多数残っています。四十棟余りの千本格子の町並みは、繁栄した当時の面影を今に伝える貴重な文化遺産です。

明治に入り米蔵は廃止されました。が、米の流通に精通した吉久は、そのあとも経済力を持った米商人の町として栄えました。

その吉久には、江戸時代末から昭和初期にかけて建てられた家が多数残っています。四十棟余りの千本格子の町並みは、繁栄した当時の面影を今に伝える貴重な文化遺産です。

【5】 吉久の町並み
(国選定重要伝統的建造物群保存地区)

越中一宮氣多神社は、平安時代の中宮唯一の名神大社とする資料もあります。國重要文化財の本殿は四百五十年程前の再建といわれ、室町時代の建築様式の特徴がよく残された風格ある建物です。境内に、万葉集の歌人大伴家持を顕彰した大伴神社が建っています。

延喜式神名帳に名を連ねる古社で越中國唯一の名神大社とする資料もあります。國重要文化財の本殿は四百五十年程前の再建といわれ、室町時代の建築様式の特徴がよく残された風格ある建物です。境内に、万葉集の歌人大伴家持を顕彰した大伴神社が建っています。

1887年(明治10年)、伏木に日本初の私立測候所が設立されました。現在の建物は、1909年(明治42年)に建てられた貴重な洋風建造物、旧伏木測候所です。

勝興寺の門前近く現在気象資料館が建っている台地は、かつては越中國守大伴家持が住んでいた館(官舎)のあつたところといわれています。

1887年(明治10年)、伏木に日本初の私立測候所が設立されました。現在の建物は、1909年(明治42年)に建てられた貴重な洋風建造